

令和元年度（平成30年度対象）

教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検・評価等報告書

串間市教育委員会

報 告 書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、平成30年度の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価等について、報告書を提出します。

令和元年 9月 2日

串間市教育委員会

教育長 吉 松 俊 彦

○自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、平成20年度から教育委員会の権限に属する事務の全てにおいて、その管理・執行状況について点検及び評価を行うこととなりました。

串間市教育委員会としては、これまでも本市の教育の発展のために様々な事業に着手し、その結果等を踏まえて改革に取り組んできているところです。

政策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から自ら評価を行い、その結果を公表することは、政策立案を的確に行うとともに住民に対する説明責任を果たす上で重要なことです。そのような観点から、法の趣旨にのっとり具体的な内容の評価・点検を行うこととしました。

○点検・評価の対象

点検・評価の対象は、平成30年度の主な教育施策や事業とし、次の三つの項目に分類しています。

- シート その1 教育委員会の活動
- シート その2 教育委員会が管理・執行する事務
- シート その3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

○評価の方法

「その1 教育委員会の活動」、及び「その2 教育委員会が管理・執行する事務」

→ 重要度と実現度を組み合わせた表を活用

【重要度】

教育委員会の活動や教育委員会が管理・執行する事務として、重要度の高いものは高、比較的低いものは低、それ以外は中とする。

【実現度】

目標値に対して、概ね8割以上実施できたものは高、ほとんどできなかったものは低、それ以外は中とする。なお、対象年度に事例がなかったものは記載しない。

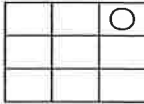
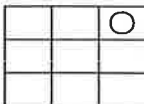
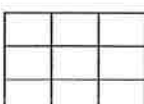
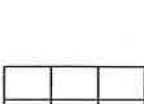


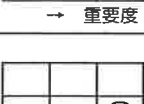
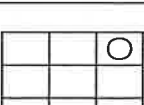
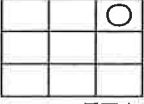
「その3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」

『平成30年度主要施策の成果に関する報告書』に代え、報告を行うものとする。

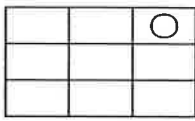
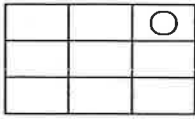
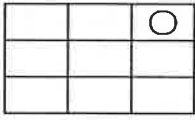




○点検・評価委員

評価及び主な意見については、事務局から説明を行い、2名の学識経験者により評価を行った。

平成30年度 串間市教育委員会の自己点検・評価シート その1

大項目	中項目	小項目	点検	評価
1 教育委員会の活動	(1) 教育委員会の会議の運営に関する事	① 教育委員会会議の開催回数	実現度↑  → 重要度	串間市教育委員会会議規則で定めているとおり、定例会については毎月1回、臨時会については急を要する議案等が生じた場合に開催している。平成30年度は、12回の定例会を開催した。 今後も計画的に会議を開催するとともに、十分な議論を行っていく。
		② 教育委員会会議の運営上の工夫	実現度↑  → 重要度	教育委員会の定例会においては、資料等を概ね1日前までに配布することにより、議案の熟読がなされた上で審議を行ったため、議案に対する理解を深めることができた。 教育委員会の定例会において、教育長から最近の教育に関する情報について各委員に報告を行い、情報共有に努めた。 生徒指導状況について、各委員に報告を行い、情報共有に努めた。 今後も会議の活性化を図っていく。
	(2) 教育委員会の会議の公開等に関する事	① 教育委員会会議の傍聴者の状況	実現度↑  → 重要度	教育委員会会議の傍聴は可能であるが、平成30年度は、傍聴の実績はなかった。 委員会開催日など市庁舎前の掲示板にて告示し、併せて市公式サイトで会議開催のお知らせをし、地域住民に周知を図った。 今後も引き続き周知を図っていく。
		② 会議録の公開、広報、公聴活動の状況	実現度↑  → 重要度	会議録について市公式サイトで会議概要を公開し、地域住民に周知を図った。 今後も引き続き会議概要の周知を図っていく。 市広報誌を活用し、平成30年度は偶数月に「福高NOW」と題して福島高校のPR、奇数月に「生涯学習だより」と題して、公民館講座等のPRを行い、「くしまっ子」において、市内の子供たちの活躍を紹介している。 今後、市公式サイトや市広報誌を活用し周知を図っていく。
	(3) 教育委員会と事務局との連携に関する事	① 情報提供等	実現度↑  → 重要度	教育委員会の定例会においては、資料等を概ね1日前までに配布することにより、議案の熟読がなされた上で審議を行ったため、議案に対する理解を深めることができた。
	(4) 教育委員会と首長の連携に関する事	① 首長との意見交換	実現度↑  → 重要度	平成30年度は県立福島高等学校を育てる市民の会を1回開催し意見交換を行った。 さらに、市長部局による「串間市総合教育会議」を開催し、市長と教育委員会による協議、調整を行った。 今後も意見交換会等を開催してさらなる連携を図る必要がある。
	(5) 教育委員の自己研鑽に関する事	① 研修会への参加状況	実現度↑  → 重要度	教育委員を対象とした研究大会・研修会に参加し、必要な知識等を深めることができたが、今後より多く参加して知識等を深めていただくため、積極的に研修に参加していく必要がある。 平成30年度は、教育委員の研修として鹿児島県垂水市の高校及び鹿児島市内の文化財等を視察した。
	(6) 学校及び教育施設に関する事	① 学校訪問	実現度↑  → 重要度	各学校が掲げるテーマに基づき、6月から11月までの間に11校の小中学校を計画訪問し、各学校の実態を把握するとともに、教職員に指導助言することができ、教育の向上に資することができた。
		② 所管施設の訪問	実現度↑  → 重要度	学校施設については、定期的な訪問を行っている。 また、その他の所管施設で開催される行事へ出席する際には、所管施設への訪問もあわせて行っている。

平成30年度 串間市教育委員会の自己点検・評価シート その2

大項目	中 項 目	点 検	評 価
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること	実現度 ↑  → 重要度	毎年、串間市教育施策の見直しを行い、市校長会において当該年度の施策や事業を示し、その周知徹底を図った。
	(2) 教育委員会規則及び規程を制定し、又は改廃すること	実現度 ↑  → 重要度	串間市学校管理規則の一部を改正する規則について所要の改正を行った。
	(3) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	実現度 ↑  → 重要度	当初予算編成方針を説明し、新年度予算原案の決定を行った。 また補正予算案についても説明し決定を行った。 その他、議会に提案すべき議案についても、定例会において審議し決定を行った。
	(4) 串間市立の小学校及び中学校その他の教育機関の設置、移転及び廃止に関すること	実現度 ↑  → 重要度	平成30年度は事例がなかった。
	(5) 県費負担に係る教職員の人事の内申に関すること	実現度 ↑  → 重要度	4月の人事異動に際し、県教育委員会へ職員の内申を行った結果、概ねその意向が異動に反映された。
	(6) 教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること	実現度 ↑  → 重要度	4月の人事異動に際し、市長部局と事前に十分協議をし、概ねその結果が反映された。
	(7) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関すること	実現度 ↑  → 重要度	学校医ほか17件の各種委員等について、教育長提案のとおり承認した。

平成30年度 串間市教育委員会の自己点検・評価シート その2

大項目	中 項 目	点 検	評 価
2 教育委員会が管理・執行する事務	(8) 教科用図書採択の決定に関する事	実現度 ↑  → 重要度	平成30年度使用中学校用教科用図書「特別の教科道徳」の採択を行った。
	(9) 学校の通学区域を設定し、又は変更すること	実現度 ↑  → 重要度	平成30年度は事例がなかった。
	(10) 串間市文化財保護条例（昭和43年串間市条例第6号）による文化財の指定及び解除に関する事	実現度 ↑  → 重要度	平成30年度は事例がなかった。
	(11) 請願、陳情、訴訟及び異議の申立てに関する事	実現度 ↑  → 重要度	平成30年度は事例がなかった。
	(12) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事	実現度 ↑  → 重要度	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の趣旨に基づき、評価委員の評価を参考に、改善に向けた協議を行った。

平成30年度 串間市教育委員会の自己点検・評価シート その3

大項目	事業の名称等		担当課・係	点検・評価
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(1)	不登校児童生徒対応指導事業	学校政策課教育総務係	『平成30年度主要施策の成果に関する報告書』に代える。
	(2)	小中高一貫教育推進事業	学校政策課教育総務係	
	(3)	福島高等学校支援事業	学校政策課教育総務係	
	(4)	教育研究所育成	学校政策課教育総務係	
	(5)	外国語教育指導員配置事業	学校政策課教育総務係	
	(6)	中学校部活動支援事業	学校政策課教育総務係	
	(7)	新しい中学校特別支援教育充実事業	学校政策課教育総務係	
	(8)	社会を生き抜く学力向上推進事業	学校政策課教育総務係	
	(9)	各種団体補助金	生涯学習課生涯学習係	
	(10)	生涯学習推進事業	生涯学習課生涯学習係	
	(11)	新ふれあい体験推進事業	生涯学習課生涯学習係	
	(12)	文化財保護対策事業	生涯学習課文化係	
	(13)	文化振興事業	生涯学習課文化係	
	(14)	文化振興基金運用	生涯学習課文化係	
	(15)	スポーツ振興支援事業	生涯学習課スポーツ振興係	
	(16)	競技者・指導者育成支援事業	生涯学習課スポーツ振興係	

総合評価

・串間市立串間中学校と宮崎県立福島高等学校との県内初の連携型中高一貫教育校の取り組みとして、教職員の相互乗り入れ授業など着実に推進されている。
 ・福島高校存続策として、入学支援金、給付型（返済不要）の奨学金などの経済的な支援策に加え、ソフト面での魅力づくりにも一層努力してほしい。
 ・昨今の地球温暖化対策として、市内小中学校の普通教室への空調機器整備は、学習環境の充実に寄与するものと考えているが、図書室や特別教室等への整備も考慮すべきと考える。
 ・社会教育関連においては、学校・家庭・地域の連携、協力の促進が地方公共団体の任務として位置づけられ、学校支援地域本部や放課後子ども教室、コミュニティ・スクールなど体制づくりの推進が必要と考える。これらの推進は教育環境の改善のみならず、多くの市民が学校支援（学校応援隊）や放課後の活動に参画するなど、活力あるコミュニティの形成につながり、引いては、福島高校存続の一助につながると考える。
 ・図書館、旧吉松家住宅、スポーツセンター等の社会教育施設での社会教育や生涯学習の推進、また、御崎馬や幸島の野生サルなどの文化財の保存や有効活用の充実が望まれる。
 ・生涯スポーツにおいては、体育推進員等による、地域における身近なスポーツ環境の整備や宮崎県が提唱している「1130」県民運動の取り組みに期待したい。

